

平成15年5月9日

各関係機関の長

各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除所長

## 病害虫防除速報第1号

1. 病害虫名 イネミズゾウムシ
2. 作物名 早期水稲
3. 発生状況と発令の根拠

- 1) 4月上旬の巡回調査による発生面積率は31.3%（平成41.1%）であり、平成並であったが、南那珂地区では全ての調査地点において発生が見られた（昨年度は発生面積率80%）。
- 2) 4月中旬の気温が高かったため（平成比+2.6℃）越冬成虫が飛翔可能となり（気温20℃で飛翔可能）、予察灯（国富町）における誘殺数は、4月の4半旬が25頭（平成値0頭）、5半旬が20頭（平成値0.4頭）と、例年より早く越冬成虫の飛翔による拡散が始まっていることから注意が必要である。
- 3) 向こう1ヶ月の平均気温は平成より高いと予想されている（鹿児島地方気象台5月2日発表）。
- 4) 越冬成虫の本田への侵入は5月中旬頃まで続くと予想される。
- 5) 今後幼虫が根を食害することにより、分けつ阻害等の生育抑制が予想される。

## 4. 防除対策

- 1) 越冬成虫の侵入最盛期が防除適期であるので、食害状況と成虫数の把握に努める。特に箱施薬を行っていないほ場は注意が必要である。
- 2) ほ場により発生程度が大きく異なるので、発生程度を確認し、成虫が10株当たり5頭以上のほ場では、水面施用剤により防除を行う。
- 3) 発生が見られるほ場では幼虫の密度を抑えるため深水を避け、間断灌水等栽培基準に準じた水管理を行う。
- 4) 防除薬剤等については「平成14年度病害虫・雑草防除等指導指針」を参照のこと。

表-1 予察灯のイネミズゾウムシ誘殺数（4月5半旬、国富町）

H5	3.0 (頭)
H6	0.0
H7	0.0
H8	0.0
H9	1.0
H10	0.0
H11	0.0
H12	0.0
H13	0.0

H14	0. 0
本年	20. 0
平年	0. 4

[Back](#)